


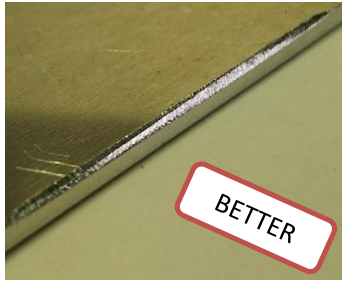
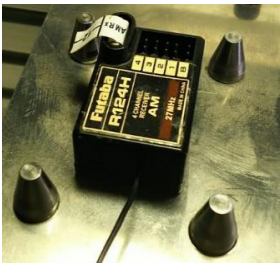
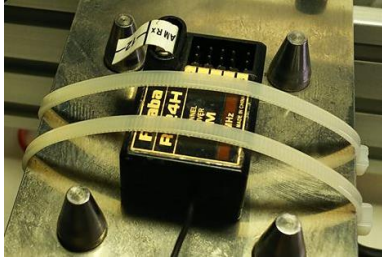




SPECクライマー検査 指摘事例集

一般社団法人 宇宙エレベーター協会 SPEC2018実行委員会 (第1版)

過去のSPECでチェック時に指摘を受けた事例を公開します。

No	指摘内容	改善策
1	タイラップの先端で手を傷つける恐れがある	タイラップの先端は根元で切断する。 締結部は内向きにして触れられないようにする
		
2	回転体がむき出しになっており、指や配線が巻き込まれる可能性がある (モータ、エンコーダ)	カバーを設けて、手や配線が入らないようにする。 ※目安：指先が入らないようにする
		
3	部品の角部でけがをする恐れがある	R付け、C面取りをして鋭角部をなくす ※目安：手の平に押し付けた時に痛くないくらい
		
4	フレームの端面がむき出してけがをする恐れがある	角部には保護部材を設置する。 ミスミのフレームキャップや、100円ショップで売っている角保護材を活用してください。
		

No	指摘内容	改善策
5	配線が固定されておらず、昇降中の振動で暴れてテザーに接触する恐れがある	配線を固定する ※ビニールテープは熱ではがれるため、タイラップ推奨
		
6	テザーが接触する部分に鋭角な金属材が使用されている	テザーが接触する場所には鋭角な金属材を使用しない。対応できない場合は接触面を鈍角にする。
		
7	部品が両面テープで固定されている (受信機やカメラ等に多いです)	ねじやタイラップなどで固定し、カメラはストラップホールを利用して落下防止を行う
		
8	コネクタの隙間から金属端子が露出しており、金属片に触れるとショートする恐れがある。	金属片が触れてもショートしないようにする 露出している端子部をビニールテープで絶縁する
		

当日に指摘を受けてから、現地で改修を行なうのは設備も無いため非常に大変です。設計段階から安全性に気をつけて製作を行ってください。

当日の確認は外側から触れる範囲のみですが、製作中の安全を確保するためにも、全ての部品に対して安全意識を持って製作を行ってください。